

## 1 1月25日の当地における主な新型コロナウイルス関連報道

### 1 ラーリー厚生省報道官発言

#### 州別感染警告情報

##### 【レッド状態】

テヘラン、イスファハン、コム、東アゼルバイジャン、南ホラサーン、セムナーン、ガズヴィーン、ロレスタン、アルダビール、フーゼスタン、ケルマンシャー、コフギルイエ・ポイエルアフマド、ギーラーン、ブシェール、ザンジャーン、イーラーム、ホラサーン・ラザヴィ、マーザンダラン、チャハールマハール・バフティヤール、アルボルズ、西アゼルバイジャン、マルキャズィ、ケルマーン、北ホラサーン、ハマダン、ヤズド、クルディスタン

##### 【オレンジ及びイエロー状態】

ホルモズガン、ファールス、ゴレスタン、シスタン・バルチスタン  
(昨日から変更なし。)

- ・イエロー地域：PCR検査で陽性の入院者数が、4人／10万人
- ・オレンジ地域：PCR検査で陽性の入院者数が、6人／10万人
- ・レッド地域：PCR検査で陽性の入院者数が、10人／10万人

### 2 ローハニ大統領発言（24日、於：コロナ対策本部専門委員会会議）

広範囲にコロナ検査を行い、感染者の追跡を行うことが、「コロナ対策包括計画」の基本的戦略の一つであり、これを力強く実行していかねばならない。

1日の検査件数を10万件に増やし、感染者と感染者に近い人たちを追跡することができれば、コロナによる死亡数を減らす極めて重要な一歩を踏み出すことができるだろう。これにより、一刻も早く感染の拡大を断ち切ることが期待される。

### 3 ゾルファガーリ・コロナ対策本部社会・治安委員長発言（23-24日）

(1) 全国民のナショナル・カードの携帯義務化がコロナ対策本部に提案されている。これは、コロナ検査で陽性だった人物の行動を管理することを目的としている。このカードは、すでに鉄道で導入されており、過去2日間で44人の乗車が阻止された。また航空機でも導入され、4人の搭乗が禁止された。

(2) この計画では、携帯アプリを使って、役所や銀行、スーパーを訪れた人のカードを検査し、その場でその人が検査で陽性だったかどうかを確認する仕組みになっている。この計画が承認されれば、ナショナル・カードを携帯していない者は処罰の対象となる。

(3) 市のサービス、特に公共交通機関を利用する際のナショナル・カードの携帯義務化に関し、一部の市民はカードを取得していない現状に鑑み、施行前に市民への十分な広報が必要である。

#### 4 ライースィ・コロナ対策本部報道官発言（24日、テレビ・インタビューで）

テヘラン・メトロが混雑している。オフィスワーカーが一定の時間帯に集中して利用していることが原因である。政府職員の移動を減らすために、職員の勤務時間をフレックスにすることが議論されており、（25日の）閣議に提起される予定である。もしこれが承認されれば、役所ごとに勤務時間が変わる可能性がある。

#### 5 ヘイダリ厚生省査察局長発言

閉業になっていないグループ1の店舗で、衛生基準が守られていないところを発見した場合は、190番まで連絡し、当該店舗の問題点について通報願いたい。また、それ以外の閉業が義務づけられている店舗で、営業を続けているようなところを見つけた場合は、商業・工業鉱山省の124番まで通報願いたい。同省が調査を行うことになるだろう。

以上